

## 日中国交正常化 45 周年記念に係る中国中山市訪問の所感

長崎市議会議員 永尾 春文

期間 平成 29 年 11 月 2 日～11 月 5 日

訪問先 中山市人民大会、孫文故居記念館など

11 月 2 日香港に入り、3 日フェリーで中山市に入りました。

中山市は、広州に接し、香港、マカオに隣接している。国家級トーチハイテク産業開発区が一つあり、総面積は 1,800 平方キロメートル、戸籍人口 142.3 万の都市です。

中山港に到着後、中山市人民代表大会に向かいました。

唐穎中山市人民代表大会常務委員会常務副主任ら 4 名の常務委員会、ならびに外事局の方が温かく迎え入れて頂きました。

各市の出席者紹介、遠いところ中山市に来ていただいたことに感謝のお言葉があり、また中日国交正常化 45 周年をともに喜びましょうとの温かい唐穎常務副主任のあいさつがあり、野口達也議長あいさつの後、歓談に移りました。

歓談では、今後の都市間の経済交流の発展を推進についての意見が交わされました。また、私も、個人の所感として、国交正常化になる時の両国の案件だった、戦後日本の中国に対する戦争損害賠償について、当時の周恩来首相ならびに中国人民の皆様が、疲弊した日本人民のため、損害賠償を一切放棄していただいた事に感謝を申し上げました。

その後、記念撮影の折、唐穎常務副主任から、私の発言について、嬉しく思う、大事なことですとの言葉をいただき、私も嬉しく思いました。

翌日 4 日は、中山市内にある孫文故居記念館を訪問しました。居宅だけでなく、地域そのものを保存し、中央に孫文を称える歴史資料館を設置していました。孫文の日本との深いかわりを学ぶことができました。また、多くの中国人観光客が訪れており、孫文が今でも中国の方に親しまれている事がわかりました。

今回、日中国交正常化 45 周年記念として中山市を訪問することができましたが、中国の地方議員と地方レベルでの交流について、前向きな協議する事ができました。今後も地域レベル、民衆レベルの交流が大変重要と感じました。